



平成3年 乙宮青年団「曾の盆踊り」で最優秀賞



平成6年 NHKのど自慢公開収録



平成8年 対馬⇄大阪直行便就航



平成9年 第1回国境マラソンin対馬

平成から令和へ時代が変わります。国の内外はもちろん、すべて平和であるようにと願いを込められた平成は、皆さんにとってどんな時代だったでしょうか。

平成16年に6つの町が一つとなり対馬市が誕生するなど、時代の転換期となった時代でした。平成最後の広報となる今月号では、旧6町の広報紙と広報つしまが伝えたまちの話題から、平成を振り返ります。

平成から令和へ

（ 広報紙で振り返る平成の対馬 ）



平成14年 対馬産ヒノキの机とイスを1年生に



平成15年 風力発電所1・2号機完成



平成17年 全国離島交流ゲートボール親善大会



平成23年 市民劇団・漁火 ミュージカル「対馬物語」



平成26年 対馬市市制施行10周年

※当時の記事をそのまま掲載しています。

平成元年～（旧6町の広報紙から）

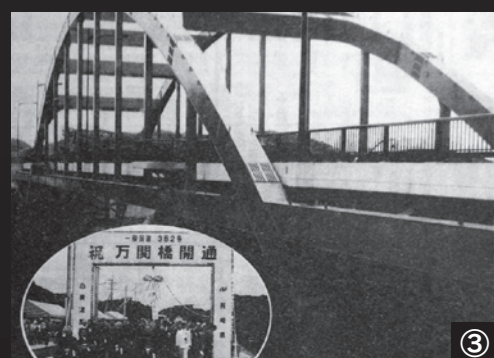
- 元年** ◦ 国道382号根緒バイパス開通
 ◦ 国際航路旅客船「あをしお」運航開始
 ◦ 対馬を舞台にしたNHKドラマ「海照らし」撮影開始
- 2年** ◦ グアム・釜山広域市影島区・対馬による国際親善ヨットレース初開催
 ◦ 天皇・皇后両陛下初の対馬訪問 ①
- 3年** ◦ 文化の郷（公会堂・文化会館・郷土館）開館（豊玉）
 ◦ バレーボール日本代表の大浦正文選手（上対馬町大浦出身）が所属する実業団チーム「サントリー」が上対馬町に来町
 ◦ 日本プロ野球名球会が対馬初来島 ②
 ◦ 乙宮青年団が長崎県青年大会郷土芸能の部で最優秀賞
 ◦ ジェットフォイル（博多⇄厳原間）就航
- 4年** ◦ 美津島町有線テレビ（MYT-3ch）開局
 ◦ 上対馬総合センター開館
- 5年** ◦ 上県町民を中心にツシマヤマネコを守る会が結成
 ◦ プロ野球ウエスタンリーグ公式戦ダイエー対中日戦が久田総合公園野球場で開催
- 6年** ◦ フェリーちくし就航
 ◦ NHKのど自慢 美津島町町民体育館で公開収録
 ◦ あそうベイパーク開園（美津島）
 ◦ 300年ぶりに厳原町上見坂でイノシシを目撃、退治を再開
- 7年** ◦ 対馬初の温泉掘削に成功（美津島）
 ◦ 神話の里自然公園開園（豊玉）
- 8年** ◦ シャインドームみね開館
 ◦ 対馬⇄大阪直行便就航
 ◦ 三代目万関橋開通 ③
 ◦ 第1回対馬ちんぐ音楽祭イベント ちんぐトーク&コンサート開催（美津島）
- 9年** ◦ タンカー沈没事故で対馬北西部に重油が漂着。ドラム缶1083本分を回収 ④
 ◦ 第1回国境マラソンin対馬開催
 ◦ 対馬野生生物保護センター開設（上県）
 ◦ 厳原国際ターミナルビル開設
- 10年** ◦ 85年ぶりに対馬出身幕内力士誕生 出羽嵐大輔関（本名：須川清 上県町佐護出身）



①



②



③



④

ピックアップ(広報かみつしま 平成元年4月号から)

対馬の木材を使って復元された和船



上対馬町河内地区では、観光の目玉にしようと、江戸時代に大陸や本土を往来し、交易に活躍した和船を、当時の文献を参考に復元しました。記事では、河内地区の皆さんの地域活性化にける強い意気込みを伝えています。

地区の人たちと協力して、大きな杉の木を切り出して、泉地区の船大工さんに作っていただきました。完成後は地元の子もたちや都市部の高校生に体験してもらうなど、たくさんの方に楽しみながら学んでもらう良い機会になったと思います。

和船復元に関わった
大浦 康伸さん





- フェリーあがた就航
- 三根川が「きれいな川、日本一」に認定

11年 ◦ オメガ塔解体始まる（上対馬）

12年 ◦ 中対馬病院開院（美津島）
◦ 体験であい塾 匠開設（厳原）

13年 ◦ 長崎県総合防災訓練がグリーンピアつしまで実施
◦ 湊浜シーランドステージ開園（上県）

14年 ◦ 6町長が合併協定書に調印
◦ 初午祭で馬跳ばせが復活（上県） ⑤

15年 ◦ 対馬初の風力発電所1・2号機完成（上県）
◦ 湯多里ランドつしま開設（美津島）
◦ 第1回パラグライディング対馬大会開催（上県）
◦ 対馬ふるさと伝承館開設（美津島）

16年 ◦ 上対馬温泉渚の湯開設

平成16年～（合併後、広報つしまから）

16年 ◦ 対馬市誕生 ⑥
◦ 対馬海峡漁り火の湯（足湯）開設（厳原）

17年 ◦ 対馬市民球団 対馬まさかりドリームス設立
◦ 峰温泉ほたるの湯開設
◦ 陸上競技800mで日本一の本堀亮太さん（豊玉中3年）
へ初の市民表彰

18年 ◦ 半井桃水館開館（厳原）
◦ 秋篠宮殿下が対馬市を訪問
◦ 対馬市交流センター開設

19年 ◦ 23年ぶりに下島でツシマヤマネコの生息を確認 ⑦
◦ いさり火まつりが復活（美津島）
◦ 対馬の聖人 陶山訥庵生誕350年祭開催（厳原）
◦ 対馬菓子博2007開催（厳原）

20年 ◦ 対馬空港の愛称 対馬ヤマネコ空港に決定
◦ 国指定名勝 旧金石城庭園開園（厳原）

21年 ◦ 国道382号 どう坂バイパス全線開通（上県）
◦ にほんの里100選に厳原町豆酸が選出
◦ 日本で46年ぶりの皆既日食 対馬でも観測

ピックアップ(広報みつしま 平成2年3月号から)

24時間戦えますか？ソフトボール大会



対馬連合青年団が、上県と下県に分かれて行ったソフトボール大会を伝える話題、試合時間はなんと24時間！139回を約100人が交代でプレーしました。結果は233対200で下県チームが勝利しました！

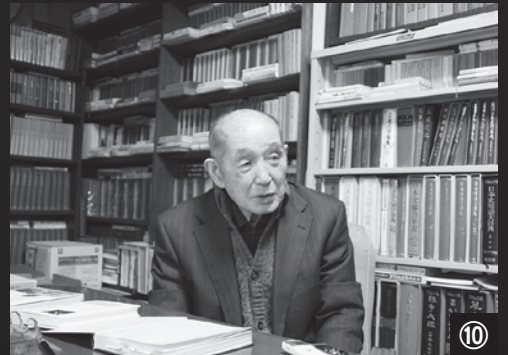
子どもの頃に憧れて入った青年団は、団員減少などによって元気がなくなっていた時期でした。そこで、青年団しかできない何か新しいことをやって、頑張っていることを対馬の人に知ってもらいたいという思いで1年をかけて準備しました。3月の夜は冷え込み、凍えながらも試合を続けたことを憶えています。

当時の対馬連合青年団長
原田 武茂さん

- 22年 ◦ 漂着ごみ（発泡スチロール）油化装置完成（峰）
- 23年 ◦ 対馬市民劇団 漁火発足
 - 東日本大震災 対馬からも支援の輪広がる
 - JR九州高速船ビートル（比田勝⇄釜山）就航
 - 未来高速コビー（厳原⇄釜山）就航
 - 朝鮮通信使ゆかりのまち全国交流対馬大会開催（厳原）
- 24年 ◦ 赤米諮問大使に相川七瀬さん
 - つしまソムリエに王理恵さん
 - 対馬とんちゃん部隊B-1グランプリでシルバーグランプリ獲得 ⑧
- 25年 ◦ 厳原町内山でツシマヤマネコ野生復帰プロジェクト始動（環境省対馬自然保護官事務所厳原事務室開設）
 - 豆豉の赤米を宮中に献納 ⑨
 - 福岡市によりあい処つしま開設
 - 対馬市初の名誉市民に郷土史家の永留久恵さん ⑩
- 26年 ◦ 対馬市誕生から10年、記念式典開催
 - 対馬国境花火大会開催（上対馬）
- 27年 ◦ 観光情報館ふれあい処つしま開設（厳原）
 - ソフトボール男子TOP日本代表に糸瀬勇助選手（上県町仁田出身）が初選出
 - 長崎県対馬病院開院
- 28年 ◦ 対馬初のプロ棋士誕生 佐々木大地四段（美津島町雞知出身）
 - 市内最長の佐須坂トンネル（1,867m）開通（厳原）
 - 商工会青年部が熊本地震の被災地へ支援物資を搬送
- 29年 ◦ 有人国境離島法施行により船・飛行機の運賃引き下げなど開始
 - 峰総合運動公園陸上競技場 全天候型にリニューアル
 - 対馬市子ども議会が初開会 ⑪
 - 国内で38年ぶりとなる野生のカワウソを発見
 - 朝鮮通信使に関する記録がユネスコ記憶遺産に登録 ⑫
 - 国境サイクリングIN対馬初開催
 - 小中学校の児童・生徒にタブレット端末を配布。授業での活用開始
- 30年 ◦ 博多⇄釜山航路JR九州高速船ビートルの一部座席を利用した日本初の国内旅客混乗便が運航開始
 - ソフトボール男子TOP日本代表に黒岩誠玄選手（美津島町雞知出身）が初選出、糸瀬勇助選手は3回目の選出
 - 雨森芳洲先生生誕350周年記念イベント開催（厳原）
- 31年 ◦ 訪れてみたい日本のアニメ聖地88（2019年版）に認定



⑨



⑩



⑪



⑫

ピックアップ(広報みね 平成8年3月号から)



左から2人目が御手洗さん

地域の人と一緒に考えた頭髪自由化

西部中学校では、10数年にもわたり検討が続けられていた、男子生徒の髪型が自由化されました。広報みねでは自由化されるまでの経緯や、保護者からの心配の声に対する回答を掲載するなど、関心の高さと、真剣に取り組む中学生の姿を紹介しています。

学校や保護者に、自由化しても心配いらないことを理解してもらうため、あいさつ運動などを率先して行いました。町内の理髪店の方にも協力していただき、ふさわしい髪型をみんなで話し合いました。

生徒会美化委員長として活動していた御手洗 茂輝さん

